

## 武漢事務所便り週間新聞記事報告6号 2011.5.14-2011.5.20

2011年5月15日付け「長江日報」により

### 湖北省 13ヶ所の観光地が副省長の呼びかけに応える

#### 5月19日当日は入場無料

副省長は市民のために各観光地が優遇政策を打ち出すことを呼びかけ、多くの観光地がその呼びかけに応えた。昨日、木藍天池をはじめとする13ヶ所の観光地は「5月19日当日は中国旅行日と決め、全ての観光客に対して、無料入場とする」と発表した。

先日、田承忠副省長は各観光地が「旅行日」として市民に本当のサービスを提供するよう呼びかけた。昨日、木藍天池観光地は「当初、観光客先着200名が入場無料と限定されていたが、全て無料とする」と発表した。嘉魚山湖温泉は「168元の温泉チケットを無料にする」、馬鞍門森林公園は「全ての観光客に無料開放する」と発表した。荊門市旅遊局も「荊門地区の緑林山、明顯陵、黄仙洞、漳河風景区、太子山、仙居風景区、恵亭湖風景区、紀山楚文化旅遊区、沙洋油菜博物館、白鹿春景区は5月19日を入場無料とし、そのうち、明顯陵、黄仙洞は文物保護と安全面を考慮し、観光客の数を制限する必要がある」と発表した。

その他、武当山観光地が入場料を無料にすると発表した。その後、金頂、紫霄宮の入場料も免除することが決定された。

## 訪日観光再開 価格は史上最安 一部のコースは50%減

19日、震災後初めて上海より訪日団が出発する。今月、日本への観光グループの派遣が再開する予定で、一部のコースは半額まで安くなると記者が携程旅行社から情報を得た。

国家旅遊局は「中国観光客の訪日観光に関する安全案内調整通知」を発表した。日本は既に震災後の復興段階に入り、福島等の震災地以外の地域の社会秩序と市民生活が既に通常に回復しているとの見解を示した。これは訪日観光が再開されることを意味している。最近、上海、北京、広州などの都市が日本への旅行を促進し、大幅に価格が下がった。19日上海から震災後初の訪日団が出発し、大阪滞在3泊4日で2999元である。近日中には、震災後初めて北海道への旅行も復活、震災前は1万元を超えていた金額から6000元にまで値下がりし、業者によると、最近の日本への旅行は史上最安である。

武漢市海外旅遊公司の責任者周山氏は、「彼らも北京、広州、上海から日本への旅行が再開されたが、武漢市はまだ様子を見る必要がある」と話した。